音楽学校 MI JAPAN × 目黒郁也

School of Contemporary Music. MUSICIANS INSTITUTE

動画連動 http://www.mi-japan.com/

ベーシストの“必須事項”を伝える短期集中レッスン!

講師 目黒郁也

自分のベースを気持ちよく聴かせるには? また、プレイの表現力をつけるためにはどうすればよいでしょう? その答えはズバリ、“ベースを歌わせる”こと。というわけで、ベーシスト目黒郁也が“歌う”ためのテクニックを伝授! 前回に引き続き、動画と合わせて挑戦してみよう!

音楽学校MI JAPANについて

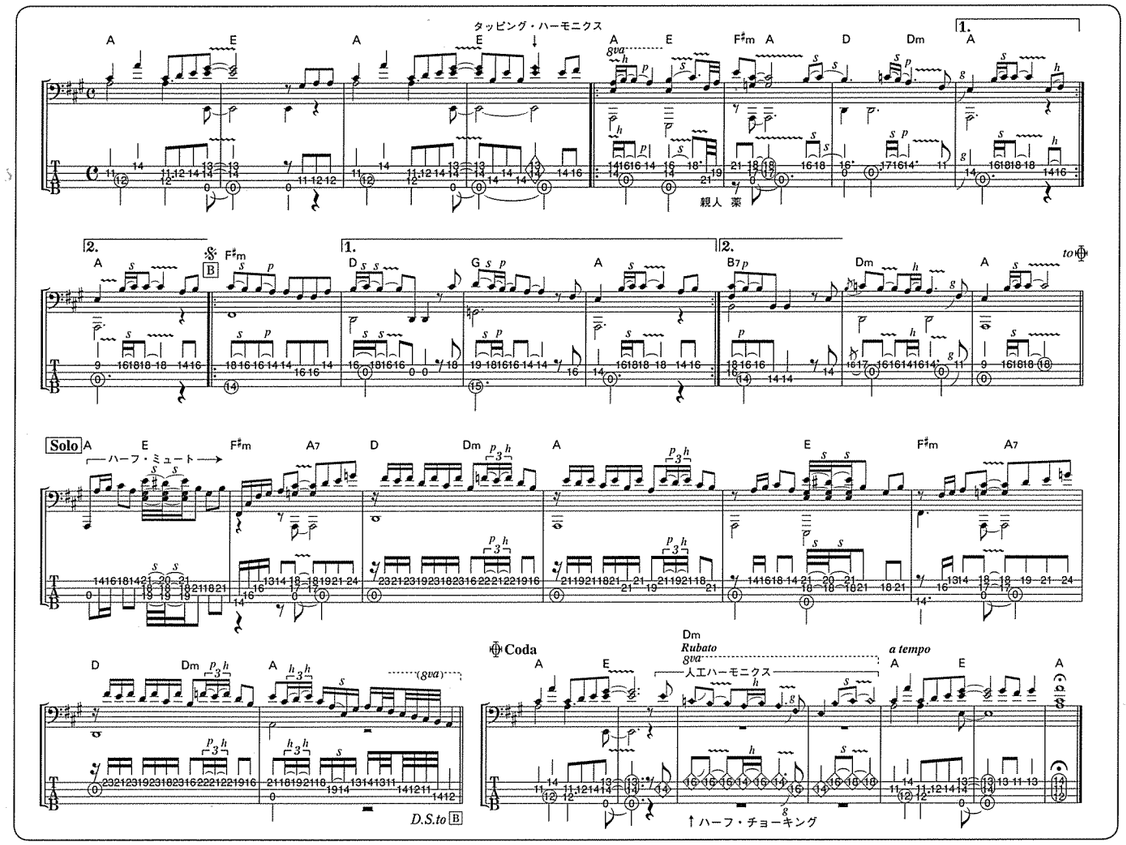
MI JAPANは世界屈指のギター・メーカー株式会社ESPを母体とし、アメリカ／ハリウッドに本校を持つ音楽学校です。ハリウッドの運営基盤と日本の音楽業界のニーズをミックスしたレッスン方針を確立し、プロとして活躍できる人材を多く輩出していることで業界から注目を集めています。

第2回 数々のテクニックを使ってベースで“歌う”!

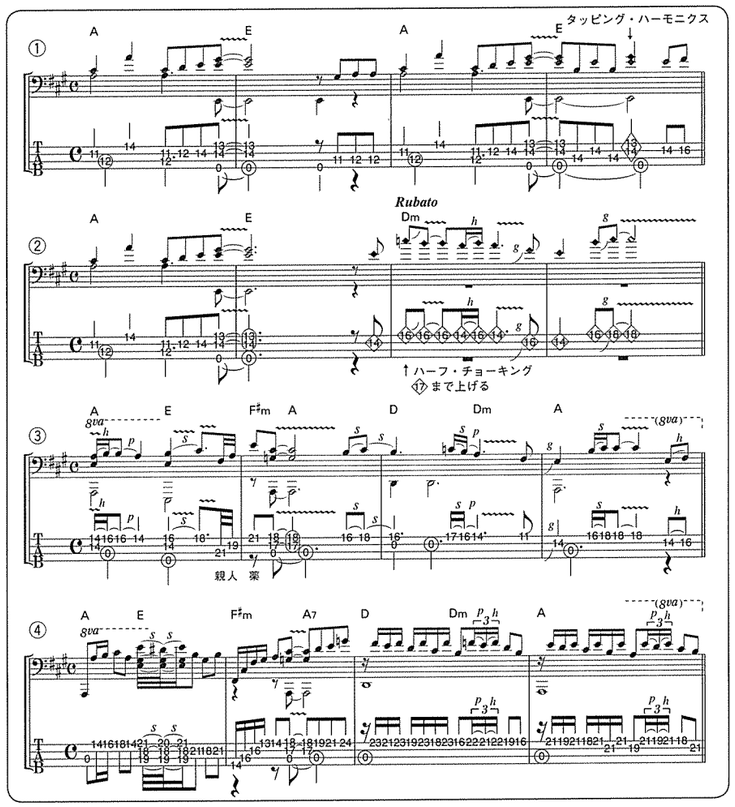
INTRODUCTION 皆さんこんにちは、目黒郁也です! 先月号より始まったこの連載。第1回目の“ベースで歌う! アーティキュレーションの妙”いかがだったでしょうか? この連載では非常に細かいニュアンスが出てくるため、動画とも連動していますので、そちらもぜひ参考にしてみてください! さて、今月もベース1本で奏でられるお題を用意しました……しかし!! 家にこもってソロ・ベースを練習するあまり、バンドを組まない、あるいはアンサンブルに混じったときも視野が狭くレコーディング・ブースにこもったようなひとりぼっちなプレイをする、なんてことにならないように(笑)! 実際にバンドで音を出して、みんなの音を感じながら生を体感するという、ベース本来のとてもとてもオイシイ役割を楽しんだうえで、ベースの新しい表現と可能性を見出していきましょう☆ 今月も引き続き、よろしくお願いいたします!!

Chapter 01 今回はフリー・テンポで奏でるソロ・ベースにチャレンジ!

今回のお題は、皆さん一度は聴いたことがあるであろう、ビートルズの「イン・マイ・ライフ」風にアレンジしたフレーズ。これをベース 1本で弾いてみたいと思います。大まかには、前回の内容の続きとなります。今回はフリー・テンポにしてみたので、ゆったりと優しく弾いてみましょう☆



Chapter 02 “歌う”ニュアンスを出すためのさまざまなテクニック



ハーモニクスで美しさをプラス!

左ページの譜面、①Introに出てくるテクニックは“タッピング・ハーモニクス”。エディ・ヴァン・ヘイレンがよくやるやつです。派手なアクションなうえにキレイな音まで出てしまう!! もう使うしかありません(笑)。右手のスナップを効かせてフレットの上を叩いてみましょう。叩いたあとはすぐ離してくださいね☆ ②Endingでは、前回も出てきたジャコ・パストリアスばりの人工ハーモニクスが飛び出します。僕は親指を軽く当てて、人差指でピッキングします。このとき、意外と強くピッキングするほうがキレイな音が出ると思います。いずれにせよ、自分の楽器の鳴りやすいポイントを探して、慣れるのが一番の近道です☆

今回は和音が主役

ベースなのに、今回は和音が多めです(笑)。楽譜を見ると嫌になりますが、前回同様、“ルート”“3rd”“5th”が中心なので、コードの構成音を理解していれば決して難しいことではありません☆ メロディが“7th”“9th”に当たることもありますが、基本的にベースで和音を弾く際には、大体のお決まりフォームがあるので、この際に慣れてしまいましょう! ③Aメロ1小節目と2小節目の間のF♯mは右手親指／人指指／薬指と同時に弾かず、順番に弾いてストロークを表現しています。

今回も肝はヴィブラート!

そしてヴィブラート……もう私、いつでも揺らしてます(笑)。前回もお伝えしましたが、音に色気や伸びをプラスするうえでは欠かせないヴィブラート! しかも、今回は単音だけではなく、和音にもヴィブラートをかけてます。前回で紹介した“横ヴィブラート”“縦ヴィブラート”をそれぞれ揺らす速度を変えるだけで、いろんなバリエーションが広がりますね☆ たくさん使い分けられるに越したことはありませんが、まずは自分の必殺ヴィブラートをマスターしましょう!!

ハンマリング、プリング、スライドの嵐!

こちらも前回の続きとなりますが、このテクニックを使ううえで気をつかっていること、それは音符の切り方(長さ)のチョイスと、左手を動かすスピード感です。これらを意識することにより、ニュアンスのバリエーションを作っています。④の1小節目でもスライドを多用しています。“低い音から高い音”へと移動させるスライドは、皆さんもよく使っているかと思いますが、“高い音から低い音”へと素早くスライドさせるのも、歌うニュアンスを出すための、とてもおいしいポイントです☆

Chapter 03 “ミュート”を活用しよう!

BASSのおいしいミュート術

Solo前半(4小節)はよりクラシカルなイメージですが、前回も出たハーフ・ミュート奏法で弾いています!! これは右手の手刀部をブリッジ近くの弦の上に乗せて、ほんの少しミュートさせて親指で爪弾く奏法です。右手の乗せ具合でミュートを調節できるので、ウッド・ベースのようなサウンドを出せたり、あるいは、単純に音量を落とす際にも非常に役に立つ奏法と言えるでしょう☆ またSolo後半(4小節)はミュート奏法から開放され、開けたイメージで弾いてみましょう☆ ④Solo終わりの32分音符のフレーズは気合です(笑)。速いフレーズはテンポを落として繰り返し練習をするのはもちろん、力を抜くと意外と指が速く動いたりします☆ リキまず頑張ってください!!

OUTRODUCTION 今月もお読みいただきありがとうございます。譜例がこんなにたくさん、さらに細かいニュアンスまで載っている記事も、なかなかないのでは(笑)? ぜひ本誌と動画を何度も見て、自分なりに楽曲を解釈して弾いてみましょう。弾けた方はぜひYouTubeなどにアップして、僕にお知らせください☆ 楽しみにしております☆

講師プロフィール

MI JAPAN札幌校を卒業。その後、UK ROCK BAR「BRITS BEAT CLUB」にて、約3年半修行。2011年3月に北海道より上京。フリー・ベーシストとしてサポートやセッション・ライヴの活動を開始。2012年には亀田誠治氏主催の第一回亀田杯でグランプリを獲得。現在は、ソロ・ベースの追求やジャンルを問わず、さまざまなアーティスト・ミュージシャンのサポート・ベーシストとして活動中!

[ブログ] http://ameblo.jp/meguro-198/ **[Facebook]** https://www.facebook.com/ikuya.meguro

[Twitter] @Megu_198

BASS Mini Album『目黒郁也と申します。』絶賛発売中! iTunesよりダウンロードが可能です。現在、売り切れ中のCDも再販を予定しております。また7月も多方面でさまざまな方々とライヴをしております☆ アンサンブルでの僕のプレイ／サウンドをぜひとも生で感じていただきたいです!! CD再販情報やライヴ出演情報はブログにてお知らせいたします。よろしくお願いします☆

レッスン内容を動画でチェック!

これまでの連載はYouTubeの動画と連動しています。MI JAPANのホームページからアクセスできるのでチェックしよう!

[MI JAPAN] http://www.mi-japan.com/

[You Tube] http://www.youtube.com/user/musiciansinstituteja